

Annual Report 2024 年次報告書

2024 年 1 月～12 月

大阪ユニセフ協会

Osaka Association for UNICEF



I. 組 織 概 要

名 称	大阪ユニセフ協会 2011年4月1日 日本ユニセフ協会大阪支部を改称
目 的	公益財団法人日本ユニセフ協会と協力協定を結び、 大阪府を中心に「世界と子どもたちの命と権利を守る」 ために活動しています
設 立 日	2001年(平成13年)8月1日
代 表 者	会長 吉田 昌功 (2025年7月25日就任)
事 務 所	〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル2F 火曜日から土曜日(祝日を除く) 午前11時から午後4時
電 話	06-6645-5123 FAX 06-6645-5124
E-Mail	un@unicef-osaka.jp URL https://www.unicef-osaka.jp
役 員	顧問 3人、理事 39人、監事 2人(2025年7月末現在)
会 員	個人会員 85人、団体会員10社(2025年7月末現在)
ボランティア	130人(2025年7月末現在)
主な事業活動	
(1) 広報活動	ユニセフ大阪通信の発行 ホームページ、SNS 学校等への学習協力 セミナー、学習会の開催 視聴覚教材の貸出し 写真展の開催
(2) 募金活動	チャリティイベントの開催 協力団体イベントへの参加、協賛 ハンドインハンド募金 街頭募金(愛称:アリス募金) 募金の受付、募金協力への対応

Ⅱ. 2024 年 1 月～12 月 事業と運営の概要

1. 広報活動

□「ユニセフ大阪通信」93 号から 96 号まで 4 号を各 3,500 部発行しました。巻頭の記事は子どもの学ぶ意欲や感性を育てる重要性、紛争地で幼い命を守る支援活動、そして 96 号では新シリーズ「今そこにある悲惨と危機」と題して、地球温暖化による影響で水没の危機にあるキリバスの現状を紹介しました。各号の表紙と巻頭記事はホームページに転載されています。

□ ホームページは画面リニューアルでより見やすく、利用者が必要とする情報へ確実にアクセスできるようになりました。また SNS の活用は、インスタグラムでイベントの実施報告を中心に、情報発信を行っています。

□ ユニセフ写真展は広報活動の一環として、確実に広がりを見せています。開催場所も増え、市民が気軽にユニセフの理念と活動を知っていただける機会となっています。写真展示と同時に、会場でボランティアが募金活動をすることも増えています。各写真展のテーマは以下の「2. 主なイベントの実施」写真展の項をご参照ください。

2. 主なイベントの実施

以下、○＝ 主催イベント、●＝ 他団体主催イベント、V＝ 参加ボランティア数を表しています。

○ユニセフ新春交流会 2024 1 月 27 日 中央電気倶楽部大ホール

前年の活動をスライド上映で振り返った後、関西創価小学校 6 年生によるユニセフ学習の感想文が発表されました。茶話会ではお世話になった方々とボランティアが親睦を深めました。82 名参加。

●第 31 回ワンワールドフェスティバル 2 月 3、4 日 梅田スカイビル

国際協力・交流団体のお祭り。テーマは「共に生きる世界を～みんなで WakuWaku」で、ユニセフもブースに出展し、広報活動を行いました。(V=2 日間 11 人)

○第 16 回ユニセフチャリティウォーク 4 月 6 日 花博記念公園鶴見緑地

公園の春を満喫しながら 1 時間ほどのコースを歩きました。大阪シティ信用金庫職員の方々の協力もあり、参加者総数は 379 名、一人 500 円の参加費はすべて募金となりました。(V=多数参加)

●なにわ人形芝居フェスティバル 4 月 7 日 一心寺

天王寺区の一心寺界隈で人形劇やパフォーマンス Tent、体験ワークショップが行われ、ユニセフは広報と募金活動で参加しました。(V=4 名)

●こどもの日写真展 4 月 27 日～5 月 6 日 梅田スカイビル

「奪われ続ける日常～ウクライナ・ガザの子どもたち～」を展示。5月3日～5日には募金活動を行い、外国人旅行者を含む多くの方から募金をいただきました。(V=3日間合計23名)。

●さかい福祉祭り 6月16日 堺市役所前広場

堺市内の福祉作業所などで働く人たちが中心となって開催されるお祭り。ユニセフは例年通り「愛と平和コーナー」に出店しました。(V=5人)

●チャリティーサマーコンサート 6月30日 アリオ八尾

「やおすい」の呼称で親しまれている八尾高校吹奏楽部の演奏会に大阪ユニセフ協会が協賛して開催されました。演奏の合間に募金活動を行い、多くの善意が寄せられました。(V=14名)、

○ユニセフセミナー 大阪2024 7月27日 大阪市中央公会堂大会議室

テーマを「紛争地の子どもの命を守る」とし、国境なき医師団看護師の大谷敬子氏から紛争地の緊急医療について学びました。第二部の対談では、参加者を代表して3人のボランティアが登壇し、「求められる支援」について、講師と意見を交換しました。65名が参加。

○ユニセフシアター第4回上映会『ブレットウイナー』 11月3日 ピースおおさか講堂

今回はアフガニスタンを舞台に、少年に扮して家族を支え奮闘する少女を描いたアニメ作品を上映しました。映画終了後、高校生による研究発表が行われ、男女差別のない平等社会の実現について考えました。参加者約80名

●大阪いずみ市民生協「コープフェスタ in 大泉緑地公園 11月9日 堺市大泉緑地公園

いずみ市民生協が創立50周年を迎え、地域と生協がつながる体験イベントとして開催されました。物販、体験、舞台企画など多彩な催しがあり、大阪ユニセフ協会は広報活動や抽選、手作り缶バッジによる募金活動を行い、多くの募金が集まりました。(V=6名)

●「西区ふれあいまつり」 11月9日 堺市西区役所・西文化会館

学校区のPTAや子供会を中心とした催しに、たくさんの子どもが来場しました。出店した各団体が集客に趣向を凝らすなか、大阪ユニセフ協会では「自分が描いた絵が缶バッジになる」を提供し、広報活動と募金を行いました。(V=6名)

○ユニセフチャリティーバザーOCAT2024 11月23日 OCAT モール B1 ポンテ広場

開催時間を短縮して実施されました。毎年バザーを楽しみにされている方も多く、来場者は約800人を数えました。物品のご提供は103件、最終収益は689,435円となりました。(V=多数)

●チャリティークリスマスコンサート 12月7日 アリオ八尾

好評の「やおすい」(八尾高校吹奏楽部)演奏会が開かれ、演奏の合間に募金活動と写真展を実施しました。(V=12名)

○第 46 回ユニセフハンド・イン・ハンド募金 12 月 1 日、22 日 大阪府下 18 カ所及び京都

1 年を締めくくる歳末恒例の街頭募金活動には、日本ボーイスカウトや一般社団法人ガールスカウト、学校など 34 団体、約 640 人が参加。師走の町に子どもたちの募金を呼びかける声が響きました。募金総額は昨年の実績を上回る 1,170,640 円でした。(V=参加多数)

○● ユニセフ写真展 (参加 V 数は 1 回の開催で 2～3 人)

開催一覧

期間	会場名	テーマ	イベント名
1/27	中央電気倶楽部	ウクライナの子どもたちへ心を寄せて	ユニセフ新春交流会
2/13～15	イオンモールりんくう泉南	気候変動と子どもたち	ユニセフ写真展
2/28～3/12	大阪府立中央図書館	ウクライナの子どもたちへ心を寄せて	ユニセフ写真展
4/1～4/14	アリオ八尾	ウクライナの子どもたちへ心を寄せて	ユニセフ写真展
4/2～9	咲くやこの花館	洪水禍に生きる子どもたち	ユニセフ写真展
4/19～5/15	大阪市立中央図書館	ウクライナの子どもたちへ心を寄せて	ユニセフ写真展
4/27～5/6	セキスイ	奪われ続ける日常～ウクライナ・ガザの子どもたち～	ユニセフ写真展
5/28～6/10	香里ヶ丘図書館	困難な状況下の子どもたち	ユニセフ写真展
6/5～16	ラストホール	困難な状況下の子どもたち	ユニセフ写真展
6/14～27	堺市役所	ウクライナの子どもたちへ心を寄せて	ユニセフ写真展
6/29	此花会館	ユニセフの支援が守る、子どもの未来と笑顔	大阪・関西万博プレイベント
6/30	アリオ八尾	ユニセフの支援が守る、子どもの未来と笑顔	八尾高校サマーコンサート
7/2～15	大阪府立中央図書館	13 の緊急事態	ユニセフ写真展
7/27	大阪市中央公会堂	ガザの子どもたち	ユニセフセミナー
7/30～8/8	蛍池公民館	奪われ続ける日常～ウクライナ・ガザの子どもたち～	ユニセフ写真展
9/2～9/6	イオンモールりんくう泉南	ユニセフの支援が守る、子どもの未来と笑顔	ユニセフ写真展
9/4～9/10	みのお市民活動センター	子どもの未来と笑顔のために	ユニセフ写真展
9/26～9/29	千里文化センター「コラボ」	世界の子どもたちの未来を切り拓くために	ユニセフ写真展
10/2・24	阪南市立文化センター	世界の子どもたち～スーダン～	ユニセフ写真展
10/21～10/31	阪南市役所	世界の子どもたち～パレスチナ・ガザ地区	ユニセフ写真展
11/3	ピース大阪	希望から光へ～子どもたちの夢を叶えるために教育を～	ユニセフシアター
11/20～12/3	あべのハルカス	学校に戻りたい	ユニセフ写真展
11/23	OCAT ポンテ広場	ユニセフの支援が守る、子どもの未来と笑顔	ユニセフチャリティバザー
12/7	アリオ八尾	学校に戻りたい	八尾高校クリスマスコンサート

●写真展会場での広報・募金活動 (1 開催参加 V=2～5 人)

〈アリオ八尾〉 4/13、4/14、6/30、12/7 〈新梅田シティ〉 5/3、5/4、5/5

〈豊中市千里文化センター (コラボ)〉 9/26、9/27、9/28、9/29 〈ピースおおさか〉 11/3

●四天王寺 縁日での広報、募金活動

1/21、1/22、2/21、2/22、3/20、3/21、3/22、4/21、4/22、5/21、5/22、6/21、6/22、7/21、7/22、8/21、8/22、9/21、9/22、9/23、10/21、10/22、11/21、11/22、12/21、12/22（各日 V=2～5 人）

○街頭募金活動 JR 難波駅広場

「アリス募金」の愛称で親しまれている街頭募金活動は、毎月 1 回 JR 難波駅広場で行っています。時には中高校生の参加もあり、若い世代のボランティアには取り組みやすい活動になっています。ちなみに 2024 年はこの募金活動を 11 回行い、募金総額は 231,467 円になりました。

1/20、2/10、3/2、4/13、5/25、6/8、7/13、8/10、9/14、10/12、11/16（各日 V=7～10 人）

3. 学習協力活動（出前授業）の状況

昨今の国際情勢への関心の高まりにともない、学校からの申し込みが増加しています。授業の内容はユニセフ「子ども白書」など統計データや信頼できる情報をもとに構成します。学習協力グループでは勉強会を開き、講師となるボランティアの養成に務めています。

2024 年 1 月～12 月実績（出張・来室・オンラインは件数、貸し出しは本数）

出張	来室	オンライン	本年合計	前年	摘 要
51	11	0	62	36	小 20、中 10、高 6、大 4、その他（イベント含む）22
DVD 貸出し	パネル貸出し		合計	前年	DVD 貸出しにはビデオ貸出しを含む
1	6		7	0	幼 0、小 0、中 2、高 0、大 0、その他 5

◎インターンシップは高校生 1 名（米国 UT Austin, 6/26～7/21）を受け入れました。

◎【職場体験】

関西創価中学校 5 名（10/30～10/31）

◎大阪教育大学とのコラボレーション演習

・活動期間 2024 年 2 月～2025 年 1 月 参加者 5 名

演習内容：募金活動、出前授業の補助、「セミナー」への参加、事務所での作業など

4. 募金の状況

2024 年 1 月～12 月実績

金額万円、件数は振込件数

	個 人		団体・企業		学 校		小 計		当協会 活動	合計
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	金額	金額
本年	51	10318	33	1476	10	54	94	11849	296	12146
前年	82	313	32	3105	13	53	127	3473	286	3759

2024 年 1 月～12 月には緊急募金活動はありませんでした。

5. ボランティアの状況

□ 登録者 130 人（2025 年 7 月末現在）

□ 毎月最終水曜日にボランティア連絡会を任意参加（毎回 20 人前後が参加）で催しています。イベントや各グループの状況報告、運営委員会からの報告事項の検討をし、議事録は「ボランティアだより」としてメール、FAX、郵便で発信して情報の共有化を図っています。

6. 会議の状況

□ 運営委員会 毎月第二水曜日に事務所で開催。

現在は事務局長以下、各グループの責任者（ボランティア）など 7 人のメンバーで運営しています。イベントのスケジュール管理や担当者を決め、スムーズな進行実施を目指しています。話し合われた内容は「ボランティア連絡会」に報告し、情報の共有を密にしています。

□ ボランティア連絡会（前項 5.「ボランティアの状況」を参照）

□ 2024 年協定地域組織事務局長会議 2 月 21 日、22 日

全国 26 の協定地域組織から 28 名（27 組織）、日本ユニセフ協会職員が出席（大阪からは宮島事務局長）。日本ユニセフ協会各部から報告と計画発表、総務部、団体・企業事業部から報告と計画発表、各協定地域組織より活動報告がありました。

□ 第 28 回理事会 3 月 28 日／第 14 回定時会員総会 同日 いずれも難波市民学習センター研修室（OCAT ビル 4 階）で開催。

「2023 年度事業と運営の概要報告、収支決算報告」「2024 年度事業方針、事業計画、収支予算」「顧問・理事・監事選任、常務理事選任」の議案が原案通り可決、承認されました。

□ 日本ユニセフ協会学習講師研修会 6 月 14 日 日本ユニセフ協会

全国 26 の協定地域組織から担当者が参加。大阪は小山氏が参加しました。日本ユニセフ協会学校事業部による出前授業のプレゼンテーション例の紹介、地域組織参加者からの質疑応答が行われました。

□ 第 29 回理事会 11 月 28 日 難波市民学習センター研修室で開催

「2024 年 1 月～9 月の事業と運営の概要報告」「2025 年度事業方針案」「事業計画案」「2025 年度の収支予算案」「顧問・理事の選任および退任の件」の議案が原案通り可決、承認されました。

以上

Ⅲ.2024年度 収支決算書

大阪ユニセフ協会

単位：円

収入の部

大項目	中項目	金額	備考
①独自賛助会費収入		1,249,000	
②寄付金収入		248,728	
③日本ユニセフ協会からの仮受金収入	④運営費仮受金（賛助会費半額分）	952,000	
	⑤運営費仮受金（補填分）	1,153,000	
	⑥地域普及費仮受金	7,113,826	
	⑦特別事業費仮受金	0	
⑧補助金収入	⑨公的機関からの補助金	0	
	⑩民間からの補助金	0	
⑪雑収入		94	
⑫募金仮受入金		121,461,353	
	⑬小計	132,178,001	
⑭前期繰越金（日本ユニセフ協会からの仮受金分）		0	
⑮前期繰越金（日本ユニセフ協会からの仮受金以外分）		0	
	⑯収入合計	132,178,001	

支出の部

大項目	中項目	小項目	金額	備考
①運営費	⑬事務局運営費	①事務局長人件費	1,560,000	
		②事務局長通勤交通費	102,400	
		③常勤事務局スタッフ費（運営費分）	480,000	
		④常勤事務局スタッフ通勤交通費（運営費分）	135,490	
		⑤事務所賃借料（運営費分）	975,600	事務所、4F倉庫使用料
		⑥光熱水費（運営費分）	108,706	事務所空調費、電気代
		⑦協定地域組織負担分の健康診断、社会保険料	0	
		⑧	0	
	⑭その他運営費	⑨理事会、評議員会、総会関連会議費	14,600	
		⑩	0	
②地域普及費		⑪常勤事務局スタッフ費（地域普及費分）	415,000	
		⑫常勤事務局スタッフ通勤交通費（地域普及費分）	115,970	
		⑬事業スタッフ費	0	
		⑭ボランティア費	913,800	ボランティア交通費、保険料
		⑮旅費交通費	346,290	
		⑯事務所賃借料（地域普及費分）	975,600	事務所、4F倉庫使用料
		⑰催事費	639,979	事業計画による催事費用
		⑱資料製作費	751,360	大阪通信、年次報告書等
		⑲通信運搬費	678,800	大阪通信郵送代、電話代、HP費用
		⑳消耗品費、物品購入費、図書資料費	1,440,223	パソコン1台附属品一式 他
		㉑光熱水費（地域普及費分）	93,026	事務所空調費、電気代
		㉒外部業務委託費	895,972	事務機器保守料、等
		㉓雑費・その他	28,198	銀行振込手数料他
		㉔特別事業費	0	
③募金仮受入金払い出し金			121,461,353	
④日本ユニセフ協会へ返金			0	
	⑤小計		132,132,367	
	⑥次期繰越金（日本ユニセフ協会からの仮受金分）		45,634	
	⑦次期繰越金（日本ユニセフ協会からの仮受金以外分）		0	
	⑧支出合計		132,178,001	

IV. 役員名簿（敬称略、役職別、50 音順）

2025年7月25現在

顧問

出田善蔵 桃山学院大学理事長
三澤 康 外務省特命全権大使（関西担当）
藤 洋作 関西電力顧問
(顧問 3 名)

小林充佳 西日本電信電話相談役
小山富美子 大阪ユニセフ協会登録ボランティア

会長・理事

吉田 昌功 元近鉄グループホールディングス
代表取締役社長
大阪商工会議所 副会頭

齋藤昌宏 三晃空調取締役会長
坂井勝恵 大阪いずみ市民生活協同組合理事
櫻木弘之 大阪公立大学学長

常務理事

高橋知史 大阪シティ信用金庫代表理事会長
田中宏和 連合大阪会長
本荘武宏 大阪ガス取締役会長
萬浪富弘 大阪ユニセフ協会登録ボランティア
宮本信之 関西電力執行役常務

関百合子 堺市教育委員会教育長
多田勝哉 大阪市教育委員会教育長
谷本弥生 大阪府国公立幼稚園・こども園長会会長
辻 一郎 毎日放送客員
長谷川一明 西日本旅客鉄道代表取締役会長
濱崎 寛 医療法人健正会理事長

理事

飯田保之 近鉄グループホールディングス
上席執行役員
伊東徹二 日本ボーイスカウト大阪連盟事務局次長
上田恵子 国際ゾンタ 26 区エリア3
大阪I ゾンタクラブ会長
梅原啓志 大阪市経済戦略局都市間交流担当部長
大江桂子 大阪府生活協同組合連合会会長理事
岡山伸子 NRB日本理容美容専門学校理事長
梶間隆弘 近鉄百貨店代表取締役社長 執行役員
川上 征 電通客員
木村 勇 元大阪府立大学観光産業戦略研究所
客員研究員

三林京子 女優・歌手
宮坂久美子 日本航空常務執行役員西日本支社長
宮島登美子 日本テレマン協会理事
宮部義幸 関西経済同友会代表幹事
森田正人 NHK大阪拠点放送局長代行
山中和貴 吉本アドミニストレーション
弓場美幸 代表取締役社長
吉川秀隆 大阪ユニセフ協会登録ボランティア
関 雄二 大阪府国際交流財団理事長
国立民族学博物館館長

(理事39名)

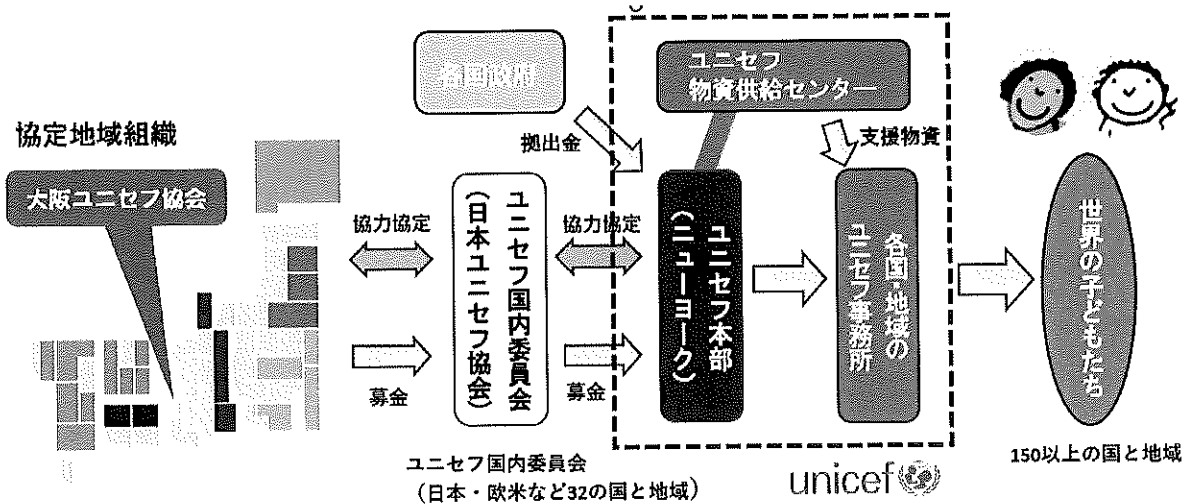
監事

熊ノ郷 敦 国立大学法人大阪大学総長
黒川浩明 大阪アーティスト協会会長
鯨本智史 税理士
信岡登紫子 弁護士

(監事2 名)

V. ユニセフ協力協定図

大阪ユニセフ協会は、公益財団法人日本ユニセフ協会と協力協定を結び活動しています。



VI. 大阪ユニセフ協会 案内図

